

岩井 宜子 教授 履歴・業績

岩井宜子 教授 履歴・業績

【略 歴】

- 昭和16年12月 兵庫県神戸市に生まれる
昭和29年 3月 神戸市立魚崎小学校卒業
昭和32年 3月 神戸市立魚崎中学校卒業
昭和35年 3月 兵庫県立神戸高等学校卒業
昭和35年 4月 東京大学教養学部文科1類入学
昭和39年 3月 東京大学法学部第1類卒業

【資 格】

- 昭和39年度 司法試験第2次試験合格

【職 歴】

- 昭和39年 4月 東京大学法学部助手
昭和42年 4月 法務省法務総合研究所研究官補
昭和47年 4月 東京弁護士会弁護士登録
昭和52年 4月 神奈川大学短期大学部助教授
昭和57年 4月 金沢大学法学部助教授
昭和59年 4月 金沢大学法学部教授
平成 6年 4月 専修大学法学部教授
平成16年 4月 専修大学大学院法務研究科教授・副院長
平成22年 4月 専修大学大学院法務研究科教授
現在に至る。

【賞 罰】

- 平成20年11月 平成20年度日本犯罪学会賞 受賞

【非常勤講師歴】

神奈川大学法学部 昭和49年—昭和52年

昭和57年—昭和59年

成城大学法学部 昭和56年—57年

横浜国立大学経済学部 昭和58年—59年

北海道大学法学部 平成2年—平成12年

金沢大学法学部 平成6年—平成7年

学習院大学法学部 平成9年—平成20年3月

法政大学法学部 平成10年—11年

立教大学法学部 平成12年—13年

国立児童自立支援施設武蔵野学院附属養成所講師「犯罪学」 平成13年—平成19年

明治学院大学法学部 平成19年4月—平成20年3月

国立精神神経センター精神保健研究所 客員研究員 平成20年4月—平成21年3月

金沢大学法科大学院「刑事政策」集中講義 平成21年—平成23年

【社会的活動・審議会委員等】

1. 石川県精神医療審査会委員 昭和63年—平成6年
2. 通商産業省・化学品審議会委員 平成4年—平成9年
3. 通商産業省・消費者問題審議会委員 平成7年—平成9年
4. 司法試験第2次試験考査委員「刑事政策」 平成3年—平成11年
5. 防衛庁・離職者就職審査会委員 平成10年—平成13年
6. 法制審議会少年法部会委員 平成10年
7. 法制審議会委員 平成11年—平成12年
8. 法制審議会刑事法部会委員 平成11年
9. 日本学術会議第18期会員（2部） 平成12年7月—平成15年7月
10. 法務省・検察官特別任用審査会委員 平成13年—平成21年
11. 厚生労働省・医道審議会委員 平成12年—平成23年3月
12. 最高裁判所家庭裁判所規則制定諮問委員会委員 平成12年
13. 防衛省・人事審議会委員 平成13年—平成20年3月
14. 法務総合研究所研究評価委員会委員 平成12年—
15. 日本刑事政策研究会評議員 平成11年—
16. 東京第1弁護士会懲戒委員会委員 平成14年—平成21年
17. 日本学術会議第19期会員（2部） 平成15年7月—平成17年9月
18. 日本学術会議第19期「学術の動向」編集委員長 平成15年7月—平成17年9月
19. 法制審議会少年法部会委員 平成16年11月—平成17年1月, 平成19年11月—平成20年3月
20. 女性科学研究者の環境改善に関する懇談会（Jaicows）事務局長 平成16年4月—

21. 内閣府・男女共同参画会議・女性に対する暴力に関する専門調査会会長
平成16年4月—平成23年2月
22. 厚生労働省社会保障審議会医療分科会委員 平成17年4月—
23. 厚生労働省社会保障審議会医療観察法部会委員 平成17年9月—
24. 厚生労働省「医師等の行政処分のあり方等に関する検討会」委員 平成17年9月—12月
25. 財団法人「社会安全研究財団」評議員 平成18年4月—
26. 独立行政法人大学評価・学位授与機構法科大学院認証評価委員会専門委員
平成18年5月1日—20年4月30日
27. 日本学術会議連携携会員（第20・21期） 平成18年9月—平成23年9月
27. 財団法人日本バレーボール協会理事 平成19年—平成23年
28. 財団法人青少年問題研究会理事 平成19年6月—
29. 財団法人日本学術協力財団評議員 平成19年6月—
30. 明治大学法科大学院 外部評価委員 平成20年4月—6月
31. 総務省恩給審査会委員 平成21年2月—平成23年3月
32. 法制審議会刑事法部会臨時委員 平成21年11月—平成22年2月
33. 法務省少年矯正に関する有識者会議座長 平成22年1月—12月
34. 警察庁「犯罪死の見逃し防止に資する死因究明制度の在り方に関する研究会」委員
平成22年1月—平成23年4月
35. 法制審議会臨時委員「新時代の刑事司法制度特別部会」 平成23年6月7日—
36. 厚生労働省「医療の質に関する無過失補償制度等のあり方に関する検討会」委員
平成23年8月—

【学会役員】

1. 日本犯罪社会学会常任理事 平成5年—平成14年
2. 日本被害者学会理事 平成7年—平成22年
3. 日本犯罪学会評議員 平成9年—平成18年1月
4. 日本法と精神医療学会理事 平成12年—
5. 日本犯罪学会編集委員 平成16年—
6. 日本被害者学会企画委員長 平成16年—平成22年
7. 日本犯罪社会学会常任理事 平成17年—平成20年
8. 日本犯罪学会理事 平成18年2月—
9. 日本法と精神医療学会理事長 平成18年3月—平成23年12月
10. 日本犯罪社会学会監事 平成20年—平成23年

【業績目録】

著書

- | | | |
|---|-------------------|-------|
| 1. 精神障害者福祉と司法 | 尚学社 | 1997年 |
| 2. 児童虐待とその対策 | 萩原玉味と共編著 多賀出版 | 1998年 |
| 3. 刑事政策 | 尚学社 | 1999年 |
| 4. 児童虐待防止法 | 編著 尚学社 | 2002年 |
| 5. 刑事政策（改訂版） | 尚学社 | 2002年 |
| 6. 児童虐待と現代の家族 | 中谷瑾子・中谷真樹と共編著 信山社 | 2003年 |
| 7. 精神障害者福祉と司法（増補改訂版）427頁 | 尚学社 | 2004年 |
| 8. 刑事政策（第三版） | 尚学社 427頁 | 2005年 |
| 9. 家庭内暴力の実態と対策に関する研究—殺人・傷害致死事例の分析から
平成14-16年度科学研究費補助金研究成果報告書・研究代表者 | | 2005年 |
| 10. ファミリー・バイオレンス | 編著 尚学社 324頁 | 2008年 |
| 11. 刑事政策（第4版） | 尚学社 439頁 | 2009年 |
| 12. ファミリー・バイオレンス（第2版） | 編著 尚学社 344頁 | 2010年 |
| 13. 刑事政策（第5版） | 尚学社 437頁 | 2011年 |

論説

- | | | |
|--|-----------------|-------|
| 1. 施設処遇の多元化 西原春夫他編「刑事政策講座」第2巻所収 | 成文堂 | 1972年 |
| 2. 公害罪法における法人処罰
藤木英雄編「公害犯罪と企業責任」所収 | 弘文堂 | 1975年 |
| 3. 死刑と憲法 藤木英雄編「判例と学説」7刑法1所収 | 日本評論社 | 1977年 |
| 4. 保護処分と刑事処分の関係について | 家裁月報32巻12号 | 1980年 |
| 5. 女性による殺人罪の量刑
(慶応大) 法学研究56巻8号 | | 1983年 |
| 6. A Study on the Victims of Homicide Committed by Female, Part2, Analysis of
the correlation between the factors of victims and the sentence
Keio Law Review No.3 | | 1983年 |
| 7. 日本における死刑廃止論の現状 | ジュリスト798号 | 1983年 |
| 8. 精神病質犯罪者の取扱いに関する法的問題
団藤重光博士古稀祝賀論文集 第3巻 | | 1983年 |
| 9. 人工妊娠中絶について | 時の法令1236号 | 1985年 |
| 10. 精神障害者の強制入院について | 金沢法学27巻1・2合併号 | 1985年 |
| 11. 責任無能力抗弁廃止論とその問題点 | 同上 29巻1・2合併号 | 1987年 |
| 12. 精神医療における薬物療法と同意—アメリカにおける投薬を拒否する権利を
めぐって | 同上 33巻1・2合併号 | 1991年 |
| 13. 精神病院入院患者の権利と保護 | 平野龍一先生古稀祝賀論文集下巻 | 1991年 |
| 14. 精神障害者の他害行為を防止する義務 | 金沢法学35巻1, 2合併号 | 1993年 |
| 15. 性犯罪・性非行・性被害 | 季刊社会安全17号 | 1995年 |
| 16. 訴訟行為能力 | 専修法学論集64号 | 1995年 |

- | | | |
|--|--|-------|
| 17. 性犯罪法の保護するもの | 犯罪社会学研究20号 | 1995年 |
| 18. 死刑の適用基準 | 刑法雑誌35巻1号 | 1995年 |
| 19. フェミニスト犯罪学と刑事法規制 | 刑法雑誌38巻3号 | 1999年 |
| 20. 児童虐待の病理とその対策 | 犯罪と非行第120号 | 1999年 |
| 21. 観護措置期間の延長 | 現代刑事法 第5号 | 1999年 |
| 22. 児童虐待の実態と対策 | 警察学論集 第52巻12号 | 1999年 |
| 23. 児童虐待の早期発見のための対応策 | 現代刑事法 第18号 | 2000年 |
| 24. 「児童虐待の防止等に関する法律」制定と今後の課題 | 警察学論集 第53巻10号 | 2000年 |
| 25. 児童虐待問題への刑事規制のあり方 | ジュリスト1188号 | 2000年 |
| 26. 少年法改正の意義と課題 | 季刊社会安全41号 | 2001年 |
| 27. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律 | 法学教室 251号 | 2001年 |
| 28. 少年非行と学校教育 | 学術の動向2001年11月号 | 2001年 |
| 29. 少年犯罪と刑事責任能力 | 現代刑事法 第36号 | 2002年 |
| 30. フェミニスト犯罪学と刑事司法 | 学術の動向2002年4月号 | 2002年 |
| 31. 児童虐待への社会的対応策の構築に向けて | 内田文昭先生古稀祝賀論文集・青林書院 | 2002年 |
| 32. 犯罪少年と責任能力 | 田宮裕博士追悼論集・信山社 | 2003年 |
| 33. 刑事制裁の多元化 | 中谷瑾子先生傘寿祝賀論文集・信山社 | 2003年 |
| 34. ドメスティック・バイオレンスの実態と対策 | 刑政 114巻6号18頁-27頁 | 2003年 |
| 35. 少年事件の処分等の在り方の現状と評価 | 現代刑事法 第52号pp34-37 | 2003年 |
| 36. 「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の概要 | 法と精神医療 第18号28頁-40頁 | 2004年 |
| 37. 「責任能力の概念—法律から」 | ジュリスト増刊
町野 朔編『精神医療と心神喪失者等医療観察法』 | 2004年 |
| 38. 「わが国における死刑・無期刑」 | 犯罪と非行 第140号pp.4-22 | 2004年 |
| 39. 「フェミニスト犯罪学と刑事司法」 | 原ひろ子他編『ジェンダー問題と学術研究』
ドメス出版 pp120-130, | 2004年 |
| 40. 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の改正 | 現代刑事法 第67号pp.91-94, | 2004年 |
| 41. 平野龍一先生の刑事政策におけるご業績 | ジュリスト1281号pp.36-41 | 2004年 |
| 42. 平成16年版犯罪白書を読んで | 罪と罰 第42巻1号pp.5-13, | 2004年 |
| 43. 「刑事法とジェンダー」 | 辻村みよ子他編『ジェンダー法学・政治学の可能性』
東北大学出版会, pp.235-244, | 2005年 |
| 44. 「子どものまわりの様々な危険—犯罪社会（誘拐・少年非行など）」 | 『子どものこころの見方, 育て方』培風館, p 152-157 | 2006年 |
| 45. 「ドメスティック・バイオレンスと児童虐待」 | 同上所収, p 271-277 | 2006年 |
| 46. 「法定刑改定と刑事政策」 | 刑法雑誌46巻1号 p 52-60, | 2006年 |
| 47. 「刑事施設法改革と展望」 | 刑事法ジャーナル第5号 | 2006年 |

48. 「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の概要 『老年精神医学雑誌』18巻5号, 2007年
49. 「児童虐待防止法改正の意義と課題」刑事法ジャーナル第10号 2008年
50. 「アメリカにおけるInsanity Defenseの動向」司法精神医学vol. 3 no.1, 2008年
51. 「刑事政策を支えるボランティアに期待するもの」犯罪と非行156号pp5-27 2008年
52. 「児童虐待防止に向けての法制度」被害者学研究 第18号pp94-103, 2008年
53. 「平成の親族間殺人」現代の社会病理（日本社会病理学会編）第23号 pp47-57, 2008年
54. 「我が国の終身刑論について」刑事法ジャーナル第14号, pp2-8, 2009年
55. 「平成20年版犯罪白書を読んで—最近の犯罪動向と刑事政策の動き」
法律のひろば平成21年1月号 p4-13, 2009年
56. 「少年法改正の動向」青少年問題 第634号（56巻春季号）, p2-7, 2009年
57. 「尊属殺違憲判決」特集：法学部生は知っておきたい—昭和・平成の法律事件（2）
法学教室530号10p-11p 2009年
58. 「ファミリー・バイオレンス」への対策 季刊社会安全 75号 p.2-7 2010年
59. 「医療観察法施行の動向と課題」専修ロージャーナル 第5号p.51-72 2010年
60. 「刑法学と犯罪学」＜日本における犯罪学の歴史と動向 第6回 刑法学＞
犯罪学雑誌 第76巻4号pp103-122, 2010年
61. 「保護命令制度」の新設と「配偶者暴力相談支援センター」
シリーズ ファミリー・バイオレンス第2回 ジュリスト1409号p162-167, 2010年
62. 「性犯罪規定の見直し」神奈川法学 第43巻第1号『山火正則先生退職記念号』
p131-144, 2011年
63. 「今後の少年矯正への期待」法律のひろば 64巻3号, p17-24, 2011年
64. 「少年矯正を考える有識者会議を振り返って—少年矯正の今後進むべき方向—」
刑政 第122巻第4号, p30-37, 2011年
65. 「少年矯正を考える有識者会議を振り返って」『青少年問題』第643号, 2011年

共同研究

1. 交通事故受刑者の特徴 法務総合研究所研究部紀要11 1968年
2. 執行猶予に付された者の成行に関する研究 同上 12 1969年
3. 起訴猶予の実態に関する研究 同上 13 1970年
4. 微罪事件の実態と被疑者の成行に関する研究 同上 14 1971年
5. 量刑の数量化に関する基礎的研究—自動車事故事件について
同上 14 1971年
6. 自動車事故事件の量刑に関する研究 第1報告 刑種の選択
同上 15 1972年
7. 精神病質者の犯罪 同上 15 1972年
8. 自動車事故事件の量刑に関する研究 第2報告 実刑・起訴猶予の基準について
同上 16 1973年
9. 児童虐待問題への一視点 犯罪社会学研究 21号 1996年
10. 交通事故被害実態調査研究報告書 交通事故被害実態調査研究会 1999年

11. 死刑の適用基準—永山判決以降の数量化研究 現代刑事法 第35号 2002年
渡邊一弘と共著
12. 死刑・無期懲役の数量化基準—永山判決以降の判例分析 専修大学法学研究所紀要 28『刑事法の諸問題 VI』 2003年
渡邊一弘と共著
13. 近年の死刑判決の量刑基準—数量化による検討—渡邊一弘と共著 犯罪学雑誌 第72巻6号, p165-176 2006年
14. 女性による殺人罪の量刑の変化—渡邊一弘と共著 専修法学論集 第102号, p1 2008年
15. 立法問題としての「児童虐待罪」町野朔編『児童虐待の予防と対応』科学研究費補助金基盤研究B「児童虐待の予防と対応—法的検証と医学的・心理学的・社会的考察」(2007~2009年度)報告書, p136-154, 一渡邊一弘と共著 2010年

共著

1. 刑事政策 沢登俊雄他編 「女性犯罪」 蒼林社 1985年
2. 思春期の性 作田他編 「性犯罪他の問題点」 誠信書房 1987年
3. 女性法学 共著 「刑法にみる男女平等」 尚学社 1987年
4. 女性犯罪 中谷瑾子編 「第一章第三節1-1, 第三章第一節1, 第三節」 立花書房 1987年
5. ホーンブック刑法総論 田宮裕・板倉宏編 「第2章刑罰の内容」 北樹出版 1990年
6. 脳の死 人の死 永野耐造・深谷松男編 「第10章脳死の刑法上の問題点」 日常出版 1991年
7. 新・刑事政策 沢登俊雄他編 「性別と犯罪」 日本評論社 1993年
8. 司法精神医学概論 『司法精神医学』第1巻 「刑法」pp196-203 中山書店 2006年
9. 社会精神医学 日本社会精神医学会編 「法学」p375-378 医学書院 2009年

総合判例研究

1. 没収・追徴 西原春夫他編 判例刑法研究 I 1980年
2. 責任能力—刑事責任能力の判断基準 刑法の基本判例所収 1988年

判例評釈

1. 刑法257条1項の法意 (最2小決昭38.11.8 刑集17-11.2357) 警察研究36巻7号 1965年
刑事判例評釈集25巻 1969年
2. 同一物について森林窃盗と窃盗の両罪の成立が認められた事例 (最2小決昭39.8.28 刑集18-7.443) 刑事判例評釈集26巻 1970年
3. ピラ貼り(2) - 小郡事件 (最3小判昭39.11.24刑集18-9.610) 続刑法判例百選 別冊ジュリスト33号 1971年
4. 救護義務(2) (最2小判昭45.4.10 刑集24-4.132) 同上 1971年
5. 窃盗の着手があったものと認められた事例 (最2小決昭40.3.9刑集19-2.69) 刑事判例評釈集27巻 1973年

- | | | |
|---|--------------------------|----------------|
| 6. 森林窃盗罪の既遂の時期（最2小決昭40.5.29 刑集19-4.426） | 同上 | 1973年 |
| 7. 道路交通法72条1項違反の罪の教唆犯が成立するとされた事例
（最1小決昭42.3.16 刑集21-2.430） | 刑事判例評釈集29巻 | 1976年 |
| 8. 「わいせつの概念」—悪徳の栄え（最大判昭44.10.15刑集23-10.1239）
刑法判例百選Ⅱ各論 別冊ジュリスト58号 | | 1978年 |
| 9. 刑法95条1項にいう暴行脅迫の程度およびその客体
（最1小判昭41.3.24 刑集20-3.129） | 刑事判例評釈集28巻 | 1979年 |
| 10. 工場排水の排出について港則法および三重県漁業調整規則を適用することの可否—石原産業四日市工場事件第一審判決（津地判昭55.3.17 判時979.6）
ジュリスト734号 | | 1981年 |
| 11. 保釈の許否と余罪（最3小決昭44.7.14 刑集23-8.1057）
刑事訴訟法判例百選（第四版） | | 1981年 |
| | 同上（第五版） | 1986年 |
| 12. 刑法175条後段にいう販売の目的の意義（最1小判昭52.12.22刑集31-7.1176）
刑事判例評釈集38・39巻 | | 1982年 |
| 13. 責任能力の判定基準（1）（大判昭6.12.3刑集10.682）
刑法判例百選Ⅰ総論（第二版） | | 1984年 |
| 14. 誘拐罪の保護法益（福岡高判昭31.4.14 高裁刑特報3.409）
刑法判例百選Ⅱ各論（第二版） | | 1984年 |
| 15. 精神分裂病による心神耗弱と責任能力（最3小決昭59.7.3刑集38-8.2783）
ジュリスト838号 | | 1985年 |
| 16. 威力業務妨害罪によって保護されるべき業務にあるとされた事例
（最2小決昭53.11.15刑集32-8.1855） | 警察研究57巻10号
刑事判例評釈集40巻 | 1986年
1988年 |
| 17. 常習賭博罪の常習性が認められるとされた事例
（最2小決昭54.10.26刑集33-6.665） | 警察研究58巻4号
刑事判例評釈集41巻 | 1987年
1989年 |
| 18. 刑訴法402条における刑の軽重の比較と刑の執行猶予の言渡の有無
（最2小決昭55.12.4 刑集34-7.499） | 警察研究58巻11号 | 1987年 |
| 19. 刑の執行猶予言渡取消決定に対する即時抗告棄却決定に対する特別抗告事件
における裁判の執行停止とその対象とすべき裁判
（最1小決昭56.10.2 刑集35-7.683） | 同上 59巻10号 | 1988年 |
| 20. 罰金刑の定めがなくかつ簡易裁判所の事物管轄に属しない罪について罰金刑
を科した略式命令に対する非常上告とその裁判—刑訴法458条1号但書に
いう「被告人のため不利益」な裁判にあたらないとされた事例
（最3小判昭58.7.12 刑集37-6.875） | 同上 61巻3号 | 1990年 |
| 21. 実行行為と責任能力（大阪地判昭58.3.18 判時1086.158）
刑法判例百選Ⅰ総論（第三版） 別冊ジュリスト58号 | | 1991年 |
| 22. 少年法27条の2第1項による保護処分取消の時期
（最3小決昭59.9.18 刑集38-9.2805） | 警察研究63巻3号 | 1992年 |

23. 猥褻罪における公然性（最2小決昭32.5.22 刑集11.5.1526）
刑法判例百選Ⅱ各論（第三版） 別冊ジュリスト117号 1992年
24. 実行行為の途中で心神耗弱になった場合と刑法39条2項
（長崎地判平4.1.14判時1415号142頁）
平成4年度重要判例解説 ジュリスト1024号 1993年
25. 実行行為と責任能力（長崎地判平4.1.14判時1415号142頁）
刑法判例百選Ⅰ総論（第四版） 別冊ジュリスト142号 1997年
26. 猥褻罪における公然性（最2小決昭32.5.22 刑集11.5.1526）
刑法判例百選Ⅱ各論（第四版） 別冊ジュリスト143号 1997年
27. 犯罪少年と責任能力 少年法判例百選 別冊ジュリスト147号 1998年
28. 殺害された被害者の数が一名である身の代金目的拐取，殺人，拐取者身の代金要求，
監禁，強姦の事案につき，原判決が維持した第一審判決の死刑の科刑がやむを得ない
ものとされた事例（最1小判平10.4.23 判時1638号 154頁）
判例評論486号47頁，判例時報1676号207頁 1999年
29. 死刑か無期懲役か——五件の検察官上告（最2小判平11.11.29 判時1693号 154頁
最2小判平11.12.10 判時1701号 166頁
最1小判平11.12.16 判時1698号 148頁
最1小判平11.12.16 判時1699号 158頁
最3小判平11.12.21 判時1696号 160頁）
平成11年度重要判例解説 ジュリスト1179号 2000年
30. 電車内で強制わいせつ行為を終了した後，車外に逃走して逮捕を免れる目的で，
暴行を加えた結果，被害者に傷害を負わせた場合について，強制わいせつ致傷罪
の成立を認めた事例（東京高判12.2.21 判時1740号107頁）
判例評論524号42頁，判例時報1791号204頁 2002年
31. 故意犯と原因において自由な行為（大阪地判昭51. 3.4 判時 822号109頁）
刑法判例百選総論（第五版）70頁 2003年
32. わいせつの概念（4畳半襖の下張事件 最2小判昭55. 11. 28刑集34巻6号433頁）
刑法判例百選各論（第五版）196頁 2003年
33. 児童ポルノ法2条3項3号と刑法175条のわいせつ概念の関係—児童ポルノ販売事件
（京都地判平成12年7月17日判タ1064号249頁）
メディア判例百選，別冊ジュリスト179号122頁 2005年
34. わいせつの意義（4畳半襖の下張事件 最2小判昭55. 11. 28刑集34巻6号433頁）
刑法判例百選Ⅱ各論（第六版）210頁別冊ジュリスト190号 2008年

解説

- | | | | |
|----------------------|-------------|------------|-------|
| 1. 死刑と憲法 | 藤木英雄編 刑法の争点 | ジュリスト増刊所収 | 1978年 |
| 同上 | 同上 | 同上・新版 | 1987年 |
| 2. 死刑の適用基準 | 同上 | 同上 | 1987年 |
| 3. 戦後のわいせつ出版物に関する法規制 | | 写真装置2巻 | 1981年 |
| 4. 余罪と量刑 | 高田卓爾他編 | 演習刑事訴訟法改訂版 | 1984年 |

5. 墮胎を制限するミズーリ州法に対する米連邦最高裁の合憲判決
ジュリスト947号 1989年
6. 逐条判例刑法 内田他編 第25条-第27条, 第 233条-第 234条の2
ぎょうせい出版 1989年
7. 「児童虐待防止法制」『子育て支援』のニューズレター第21号
p3-4 2005, 2, 15 2005年
8. 「刑事政策」『青少年問題』622号 pp8-13 平成18年4月 2006年
9. 法律学小辞典第4版補訂版 有斐閣 「累進処遇」他 2008年

評論・座談会

1. 刑事政策学の一学徒として 罪と罰 9巻3号 1972年
2. 中国における刑事処遇 第11次日本婦人法律家訪中代表団訪中記録 1983年
3. 女性のかかえる問題二つ 判例タイムズ512号 1984年
4. 法曹制度を考える 法学教室 87号 1987年
5. 随想「刑事政策雑感」 ジュリスト926号 1989年
6. “女子の性非行”の減少をどう読むか
現代性教育研究月報1989年5月号 1989年
7. 刑政時評：精神障害者の犯罪対策 刑政102巻3号 1991年
8. 刑政時評：少年非行と少年法 刑政102巻9号 1991年
9. 刑政時評：いじめ考 刑政103巻3号 1992年
10. 刑政時評：暴力団対策法に思う 刑政103巻9号 1992年
11. 私の死刑廃止論 法学セミナー別冊 1994年
12. 随筆「児童虐待防止法制定に思う」 学術の動向2000年12月号 2000年
13. 座談会「改正少年法と今後の課題」現代刑事法24号 2001年
14. 私が研究者になるまで「困難の陰に喜びあり—障害児の母の研究者人生」
学術の動向2002年2月号 2002年
15. 師を語る「私の3人の恩師」 学術月報56巻1号 2003年
16. 座談会「心神喪失者等医療観察法」 ジュリスト1256号 2003年
17. 巻頭言「児童虐待防止の実効化に向けて」 青少年問題第51巻第3号 2004年
18. 巻頭言「被害者の実質的保護に向けて」 被害者学研究第14号 2004年
19. ジュリストの視点「DV防止法の将来課題」 ジュリスト1266号 2004年
20. 座談会「児童虐待の現状と法整備」司会 現代刑事法65号 2004年
21. 座談会「平野龍一先生の人と業績」ジュリスト1281号 2004年
22. 座談会「男女共同参画基本計画改定に当たっての基本的な考え方」の検討を振り返って
共同参画21 内閣府編集 No.21 2005年11月号4頁-10頁 2005年
23. リレーコラム 男女共同参画のこれまでとこれから⑦「暴力の根絶のために」
共同参画2008年11月号10頁 2008年
24. 少年矯正を考える有識者会議座長談「改善すべき問題点を洗い出しより良い
少年矯正を作り出す」『矯正の窓』26号秋冬2010, 4頁 2010年